

## 5 校内研究・研修

### (1) 研究主題

教科等	研究主題
全教科	個性を發揮しながら自ら授業を作り上げていく児童の育成 ～読み解く力の学びのプロセスを通して～

### (2) 主題設定の理由

本校では、2019年度より国語科を窓口の研究を始めた。以前から研究を深めてきた「ユニバーサルデザインの授業づくり」を生かし、その上に「単元を貫く言語活動」の考え方を取り入れた「出口を意識した単元づくり」の実践を重ねてきた。昨年度は、①単元でつけたい力を明確にすること（単元計画）、②「読み解く力」を高め、發揮している児童の姿を具体的に想定して授業を構想していくことの2点を重視しつつ、新たな視点として③「タブレットの活用」について研鑽を深めてきた。

研究の成果としては、意識的にゴールを見据えた実践を進めることによって、見通しをもって学ぶ児童の姿が見られるようになってきた。また、タブレットの活用が始まり、児童が意欲的に自らの手で学びを広げていく姿を見ることができた。タブレットは、コロナ感染症の中、他者と交流していく有効なツールであることも検証できた。

本年度の研究は、昨年度の研究の成果をふまえ、次年度の課題としてあげられている「個性を發揮しながら自ら授業を作り上げていく児童の育成」を視点に加え、授業の主役を教師から児童にし、生涯を通して自ら学んでいく人間の育成に取り組んでいきたい。

そのために、次のような研究の視点を設けて研鑽を積んでいきたい。

- ① 育てたい資質と能力を明確にする。
- ② 読み解く力のプロセスを具体化し、児童の最終的な学習活動の姿（ゴール・出口）を明確にする。
- ③ 児童の意欲を引き出し個別最適な学びと共同的な学びを実現する ICT（タブレット）の活用方法を開発していく。

#### ◎研究の仮説

読み解く力のプロセスを意識し、ICT（タブレット）を活用した授業を行うことで、自ら学んでいく児童を育成していくことができるだろう。

### (3) 研究の内容と方法

#### <研究の内容>

- ① 「①発見・蓄積 ②分析・整理 ③再構築」の読み解く力育成のプロセスを意識して、単元全体や一授業を組み立てる。それぞれの段階での具体的な子供の姿を描きながら、教師がどのような材料を用意し、どのような形で支援（ゴール設定や個々への支援など）していくのかを考察していく。
- ② 各教科において主役を教師から児童にするために全教科を窓口にし、新しい授業の形（机の位置、教師の立つ位置、交流の仕方など）を創造していく。若い職員が多いことも考え、長浜市教育研究所の協力を得て学びを深めていきたい。
- ③ タブレットをはじめとする ICT の活用を開発していく。とくにタブレットは、児童の学習意欲を高め、学びを広め交流していく有効なツールである。そのより有効な活用方法を開発していきたい。

#### <研究の方法>

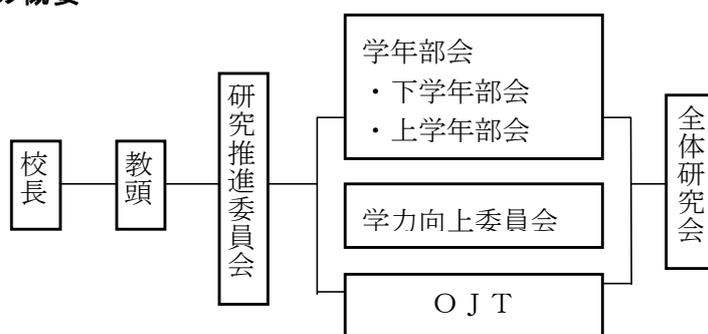
- ・各学級年一回授業を行う。
- ・事前研究会は、研究主任と授業者と所属の上学年もしくは下学年の教師、管理職1名で行う。

- ・記録は、動画および写真で撮る。
- ・事後研究会は、研究主任が司会をし、KJ法を利用しながら全員で行う。
- ・OJTの時間を金曜日の放課後に設定し、授業研究とタイアップして授業改善を進めていく。

#### (4) 研究・研修計画

月	校内研究	職員研修
4	研究の見通しと研究主題決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種全体計画の検討と研修</li> <li>・危機管理研修（食物アレルギー・嘔吐）</li> <li>・危機管理研修（個人情報に関する取り扱い）</li> </ul>
5	校内研究会 （特別支援学級の授業について）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理研修（危機管理マニュアル）</li> <li>・思考ツールアプリの使い方</li> </ul>
6	授業研究会（5年国語） 授業研究会（2年道徳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理研修（パワハラ）</li> </ul>
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育研修</li> <li>・環境教育についての研修</li> </ul>
8	校内研究会 2学期に向けての教材研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談研修</li> <li>・危機管理研修（体罰）</li> </ul>
9	授業研究会（4年国語）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育研修・危機管理研修（セクハラ）</li> </ul>
10	授業研究会（3年国語）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育研修</li> </ul>
11	学力向上の取り組みについて 授業研究会（6年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ力向上研修</li> <li>・書写指導研修</li> <li>・図工指導研修</li> </ul>
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理研修（法令遵守・交通事故）</li> </ul>
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康（体・命）に関する指導研修</li> </ul>
2	研究の総括 研究紀要作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価と次年度構想</li> <li>・教科等の年間指導計画の検討</li> </ul>
3	次年度の方向づけ 学力向上の取り組みについて（ふり返り）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の反省</li> <li>・危機管理研修（他ハラスメント行為について）</li> </ul>

#### (5) 校内研究体制の概要



※職員研修においては、校長・教頭の指導のもと、各主任が中心となり計画・実施する。

#### (6) 過去5か年間の研究主題

- ① 平成29年度 「どの子にもわかる・できる確かな学びを保障する算数科をめざして」
- ② 平成30年度 「一人ひとりが自分の考えを表現し、  
周囲とつながりを深めるための国語科指導をめざして」
- ③ 令和元年度 「一人ひとりが自分の考えを表現し、  
周囲とつながりを深めるための国語科指導をめざして」
- ④ 令和2年度 「一人ひとりが周囲とつながりながら、  
自分の意見・考えを深める国語科指導をめざして」
- ⑤ 令和3年度 「対話を通して自分の考えを深め、表現できる子どもの育成」